

美和ダム 土砂バイパスの試験運用速報

バイパス放流の速報

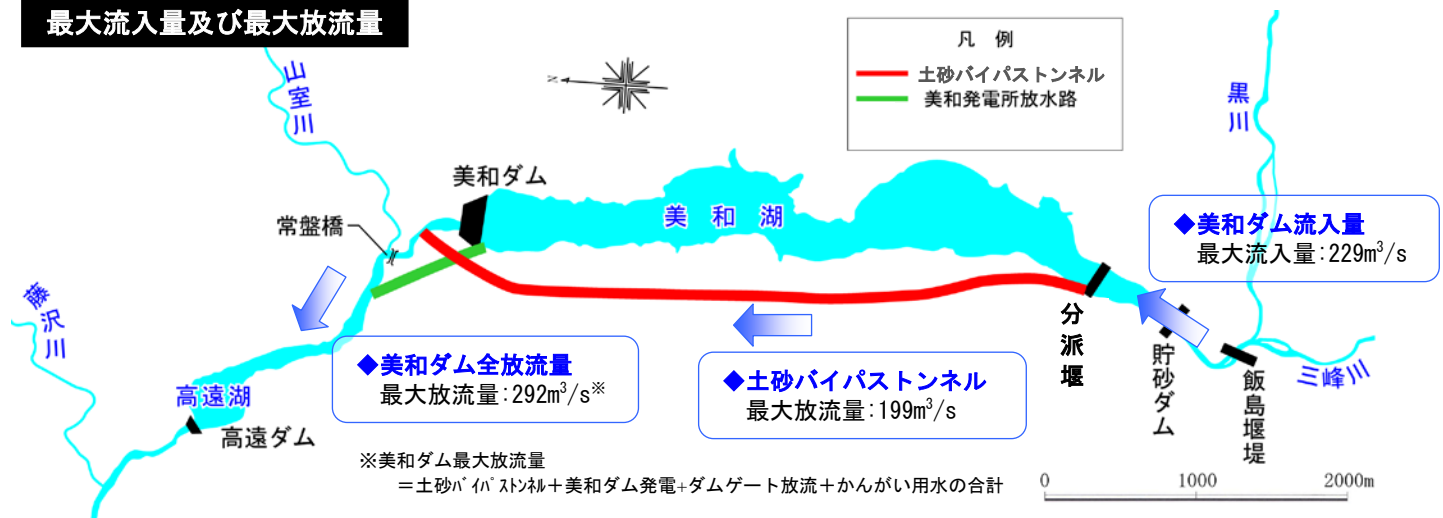
注) ここに表示されているデータは速報値です。

美和ダムでは、総雨量213.6mm (2010/7/11 13:00~7/16 5:00) の雨が降り、最大流入量が229m³/sの出水となりました。このため、2010/7/12 17:00~7/18 18:00の146時間、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制するとともに土砂移動の連続性を確保するため、土砂バイパストンネルから最大199m³/sの放流を行いました。

【速報値】

土砂バイパス最大放流量	: 199 m ³ /s (2010/7/14 15:00)
美和ダム最大放流量*	: 292 m ³ /s (2010/7/14 13:00)
美和ダム最大流入量	: 229 m ³ /s (2010/7/14 15:00)
総雨量 (流域平均)	: 214 mm (2010/7/11 12:00~7/16 5:00)

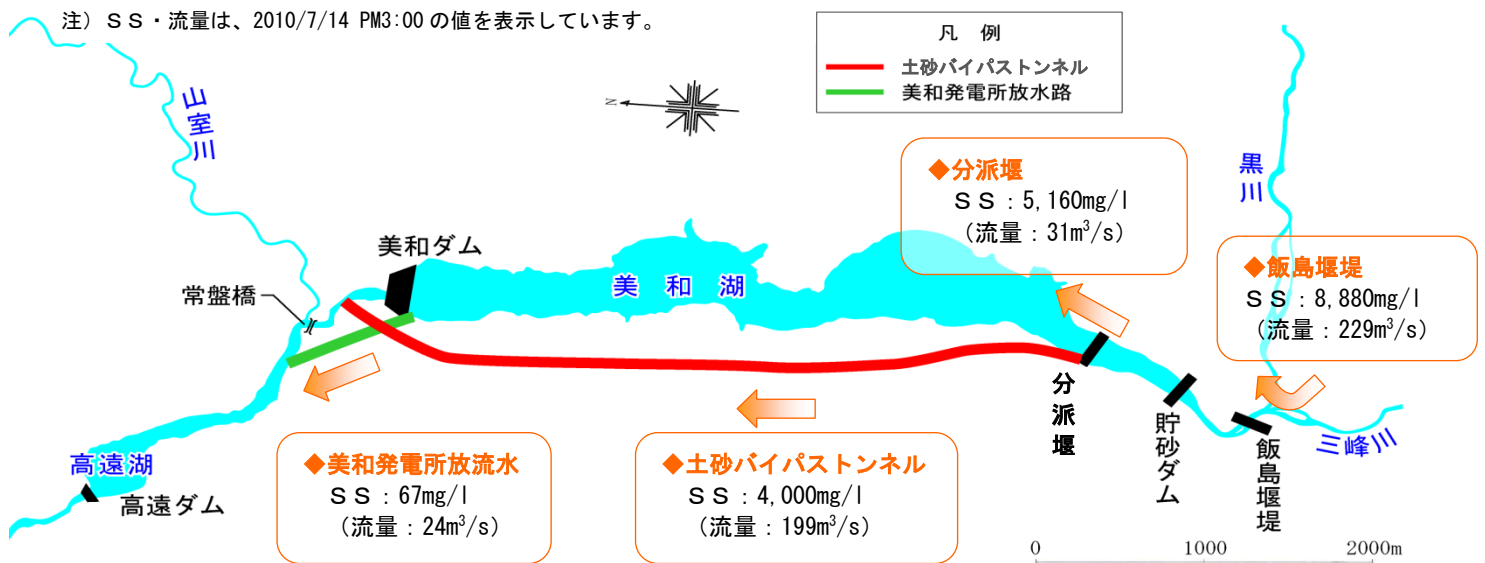
最大流入量及び最大放流量



出水時の濁り (SS) の状況

今回の出水で観測されたSS^{*}は、上流の飯島堰堤から流入してきた水で8,880mg/l、土砂バイパストンネルからの放流水で4,000mg/l、分派堰越流で5,160mg/l、美和発電放流水で67mg/lであり、土砂バイパストンネルの運用により流入土砂が美和湖に入らず、バイパスされる状況を確認できました。

注) SS・流量は、2010/7/14 PM3:00の値を表示しています。



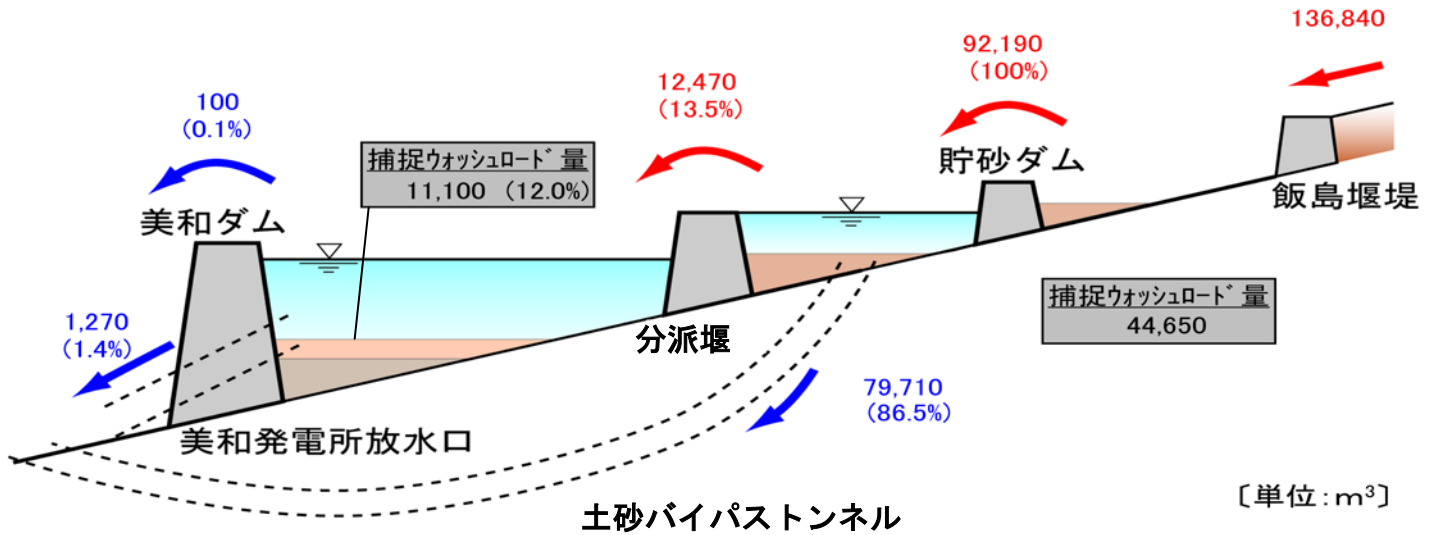
< 語句説明 >

※SS (浮遊物質) …SSとは、水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性の粒子状物質の濃度のこと、水の濁りの度合いを表す指標として用いられています。

土砂(ウォッシュロード)の動き (平成 22 年 7 月 出水)

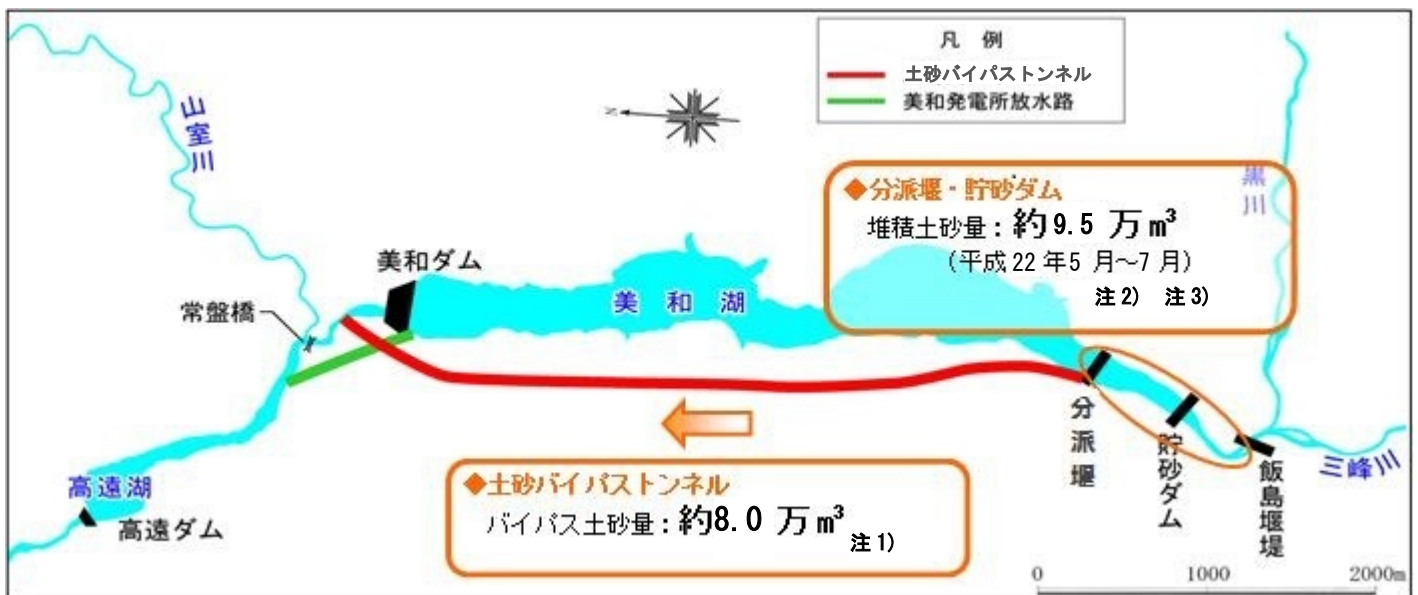
美和ダムに、流入した土砂(ウォッシュロード)の86%にあたる約8万m³を美和ダムの下流へバイパスすることができました。

土砂収支 (平成 22 年 7 月 出水)



堆砂対策施設により約 17.5 万 m³ の土砂流入を抑制

今回の試験運用では約8.0万m³の土砂を下流へバイパスしました。さらに、平成22年5月～7月の間に貯砂ダム・分派堰で砂利や砂など約9.5万m³を捕捉しました。これらの土砂は、堆砂対策施設完成以前は美和湖へ流入していたもので、以前に比べ合計で約17.5万m³の土砂流入を防いだこととなります。



注1) バイパスを通過した土砂量は、各地点で測定したSSデータと流量データから算定しました。

注2) 三峰堰・貯砂ダムの堆砂量は、平成22年5月～7月(出水後)の堆砂測量結果から算定しました。

注3) 5月～7月の堆砂測量結果を、6月出水と7月出水を単純に半分にしたものを今回の出水における分派堰上流の補足土砂量とした。

< 語句説明 >

※ウォッシュロード…流入土砂の内、流水に溶け込んで移動する細かな土砂で、美和ダムでは平均粒径0.017mm程度の微細な土砂です。